



# 誠・力・光

平成27年3月23日

練馬区立北町中学校

学校だより 9号

## 《自分を変えるために》

校長 赤木 宏行

厳しい寒さも一段落し、春の気配を日一日と感じるようになりました。後数日で、平成26年度も終わろうとしています。この一年を振り返ってみると北町中学校の生徒達もそれぞれが一生懸命に努力して、本当に立派に成長してきました。一年生は、昨年4月に入学してから、一年が過ぎようとしています。入学式で見たときは、まだあどけなさの残っていた顔もすっかり逞しくなり、中学生らしく成長しました。二年生も身体的にも大きく成長し、中堅学年としての自覚が感じられるようになりました。三年生は、3月20日に胸を張って立派に卒業していきました。

どの学年もこの時期は、精神的に大きく成長する時期とされています。自分の精神的な成長を考えるために、ここで2つのことに触れたいと思います。

まず第一に、この一年間で、自分のどこを変えることができたかを考えてみてください。身長とか体重とかではなく、自分の考え方や気持ちの持ち方、行動の仕方という面で、一年前とは違うというところがあるでしょうか。

「人間は考える葦である」と言ったのは、フランスの哲学者パスカルという人ですが、考えると言うことが他の動物と人間の最も大きな違いです。普通動物は、失敗を一回で学ぶことはできません。繰り返し同じ行動をして、失敗しない方法を少しずつ身につけていきます。君達がまだ赤ん坊と呼ばれていた頃、寝ている状態から這い出し、それから立ち上がって歩けるようになったのと、状況としては近いのでしょうか。しかし、人間は言葉を覚えて考えるようになることによって、失敗を何回も繰り返さなくても、教えてもらうことにより実行できるようになります。また、考えることにより失敗をしないで実行できるようになります。自分の行動パターンを変えていくことによって、人間は成長していくのです。行動パターンを変えないでいるということは、同じ状態で変わらないことを意味します。もし、自分が一年前とあまり変わっていないと思うようなら、何処からなら一番簡単に自分を変えていけそうか考えてみて欲しいと思います。変わった自分を実感できない人は、この春休みに何処から変えたらよいかを考えて、新しい年度を迎えてください。第二に、この一年間に感銘を得られるような本を読んだかどうかを考えてみてください。若くて柔軟な考え方のできるうちに、感銘を受けるような書物に出会うかどうかでその人の精神的な伸びに大きな差が付くと言われています。最近では読書離れという事が言われ、一年間に読まれる本の数が年々減少しているようです。読書という習慣は、若いうちに身につけないと一生身に付かないと言われています。朝読書はその習慣化の一つの手だてと考えることもできます。読書の良いところは、途中で止まって考えたり批判したりしながら、また先を続けていけることです。そうすることによって、自分の考えも深まり、精神的に大きく伸びることができるのです。

この一年間に、そういう本に巡り合っていない人は、この春休みにこそ何か本を読んで欲しいと思います。じっくり時間をかけて読書をして下さい。

一年の終わりに当たって、精神的に伸びるということと、何処でそれを自分の中で見つけることができるのかを考えて欲しいと思います。

## 生徒の声を掲載します

実行委員長のことばにもありましたが、この時期に合唱コンクールを行う意味を深く考えさせられたと感じています。現クラスでの残り少ない日々をかみしめながら創り上げたハーモニーに、自然と涙があふれる生徒も見られました。アンケート結果からも、実行委員やパートリーダー、指揮者と協力し練習ができたクラスがとても多かったです。また本番も、練習の成果を十分発揮したとふり返っていました。

- ・金賞は取れなくてもクラスで団結して努力し、何よりも楽しむことができました。共通の目標にむかってがんばる大切さも分かりました。また意見を出し合い改善していくことの大変さを知ることができました。
- ・金賞が取れなくて泣いてしまった友達もいました。でも、その時に一生懸命にやったことは金賞に値すると思います。それに悔し涙を流すのは、泣くほどがんばったという証です。みんなにありがとうと言いたいです。
- ・1年という時間があつたからこそ、クラスの仲間とうれし涙や悔し涙を流せるほど感動したのだと思います。人はそれぞれ感じるものが違います。でもその違う思いなかに、共通の感想を聞けることができました。
- ・3年生の先輩方の歌声にとっても感動しました。女声の透き通った高音と男声の力強い低音のハーモニーが印象に残っています。3年生になったら、今の3年生の姿を忘れずに、伝統を守っていきたいです。
- ・3年生の合唱は、すべてが聞こえるほど大きくはっきりした声でした。声の迫力というのを感じました。3年生は私たちにとって尊敬する先輩だ、と改めて実感しました。
- ・2、3年生の表情や歌声は大人の雰囲気でした。先輩から後輩へのエールだと感じました。来年は先輩として、全力でがんばりたいと思います。
- ・時にはもう歌いたくないと思いましたが、クラス全員が同じ目標に同じように向かわなければいけないと感じました。残り少ない時間も楽しく、このクラスで過ごしたいと思います。
- ・合唱の善し悪しは、どれだけクラスを一つにすることができたか、だと思います。毎日の練習の時間が、人と人をつないだのだと思いました。
- ・練習を重ねていくにつれ、休み時間や登下校中に歌を自然と口ずさんでいました。それだけクラスや曲への思い入れが強くなったと感じています。「僕らの想いを歌にこめ、奏でる絆の物語」という私たちで決めたスローガンを達成できたと思います。

### 今後の予定

- 4月 6日 (月) 始業式
- 4月 7日 (火) 入学式
- 4月 8日 (水) 新入生歓迎会
- 4月 9日 (木) 生徒個人写真の撮影
- 4月10日 (金) 保護者会 (2・3年生)
- 4月17日 (金) 保護者会 (1年)  
部活動保護者会
- 4月28日 (火) 離任式
- 4月29日 (水) みどりの日
- 4月30日 (木) 新体力テスト  
身体計測
- 5月 1日 (金) 開校記念日
- 5月 6日 (水) 振替休業日

